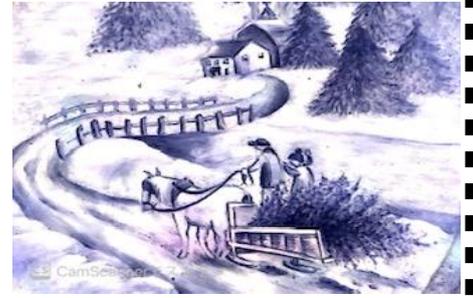


三原市久井歴史民俗資料館 vol.9



モ〜モ〜通信

モ〜れつすごいぞ！久井^{がんかい}岩海

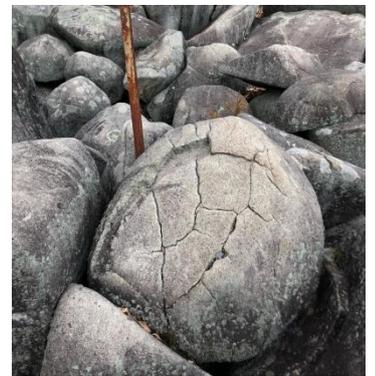


久井岩海ってなんだろう！？

三原市街地から約 30km 北にある、久井^く町^い吉田^{うねやま}の宇根山に「久井^く岩海^{いがんかい}」があります。約 1 m の巨大な岩がまるで川や海のように積み重なっています。岩がごろごろとたくさんあるので、地元では「ごろろ」ともよばれています。この久井岩海は、とても長い年月をかけてつくられたものです！昭和 39（1964）年 6 月 27 日に「久井・矢野^{やの}の岩海」として国指定天然記念物に、また平成 19（2007）年に日本の地質百選に選ばれています。



久井岩海は、
矢野の岩海と
同じように
できている



久井岩海ってどうやってできたの！？

約 8600 万年前、地球で恐竜が栄えていた頃、現在の久井町宇根山の地下深くでマグマが固まって、花崗^{かこう}せんりよく岩という岩石ができました。

その岩石はブロック状に割れて、土地の隆起^{りゅうき}と侵食^{しんしょく}により地表近くに押しあげられ、風化^{ふうか}していききました。山に川ができ、雨などでポロポロになった岩石の土は洗い流され、岩の中の固い部分だけが残され、岩海ができました。



- ★隆起と侵食
土地がもりあがったり、けずられたりすること。
- ★風化
岩石が日光・水・空気・生物などの作用でこわれること。

